

2025 年度

文学部 総合型選抜 I 期

(文章読解型)

【小論文】

60 分 100 点

次の文章を読んで、設問に答えなさい。(100点)

学校教育において、いくら知識を詰め込んでも、それが現実生活に活かせるものでないと意味がないということで、知識偏重の教育からの脱却が唱えられ、さまざまな教育改革が行われてきた。

たとえば、英語の授業を中学から大学まで10年間受けても、結局、ほとんどの日本人は英語をしゃべれないではないかということで、英語の授業の会話重視への大転換が行われた。1993年以降、英語教育を読解・文法中心から会話中心に転換してきたのだ。それによって生徒・学生たちにどのような変化が生じただろうか。

(中略) 公立高校の入試問題について、20万人のデータを対象として、英語の学力の経年変化を検討した斉田智里の研究により、1995年から2008年の14年間、毎年一貫して英語の学力が低下していることが明らかになったのである。学力低下の程度は、偏差値になると7・4だという。たとえば、2008年の偏差値50は、1995年の偏差値42・6に相当することになる。

その結果、生徒・学生の英語力の低下が著しく、大学のゼミでも英語の文献を読めない学生が多くなり、ゼミは専門の勉強をするというより英文解釈の授業のようになってしまった。ついに英語の文献を読むのは諦め、日本語の文献しか使わなくなったという声も聞く。

実用性を重視して英会話中心の授業にすることで英語力が低下するというのは、考えてみれば当然のことである。

かつてのような英文の読解が中心の授業であれば、英語で書かれた小説や評論を読み、それを日本語に訳すことで、言語能力や想像力が鍛えられるだけでなく、教養溢れる文章に触れることで深い教養が身につく、視野も広がり、知的刺激を十分に受けることができた。

ところが、英語の授業が会話中心の実用的な内容となり、海外からの旅行者に道案内したり、外国人とあいさつなどちょっとした日常会話を交わしたりする訓練となり、英文解釈のような知的格闘もなく、読解力の向上も深い教養の獲得も期待できなくなった。

英語圏では幼い子どもがしゃべっている程度の会話の訓練、つまり知的発達とは無縁の訓練を、日本では中学や高校ばかりでなく大学の授業時間内に行うようになったのである。これでは知的能力を高めることにならないのは明らかである。

簡単な英会話ができさえすれば、海外からの観光客の相手をさせることができて便利だから、英会話ができる人材を採用したいという声があるのは事実かもしれない。だからといって、英会話ができる人材を育てることを学校教育が担うというのはどうなの

か。

学校の勉強として会話を教えるというのは大いに問題がある。そもそも学校の授業というのは、単に実用的スキルを伝授するためのものではなく、頭の鍛錬、知的発達の促進のためのものである。そこをつい見逃してしまうのは、日本人の欧米コンプレックス、そして英語コンプレックスによるのも大きいのではないか。

(中略)

実用性重視の流れのなかでとくに目立つのが、「理屈はいらない、どうすればよいかを教えればよい」とでもいうような教育の仕方である。「どうしてそうするのがよいのか」といった理論的背景は棚上げして、「こうすればうまくいく」という実践的スキルを叩きこむのである。

これは、言ってみれば、「頭はいらない、指示通りに動いてくれればそれでいい」という感じで、言いなりに動く、使いやすい人材を量産する教育であり、生徒・学生を思考停止のロボットに仕立てるものと言える。即戦力を求める側に非常に都合のよい教育ではあるが、教育を受ける側を大事に育てるといった側面が疎かにされている。

ものを考える人間を育てるには、「こうすればうまくいく」と言われ、何も考えずにその通りに動くのではなく、「なぜそうするとうまくいくのか」について考え、自分なりに「なるほど、そういうことか」と納得するように導く必要がある。

頭でしっかり理解し、心から納得することで、スキルも表面的なものでなくなり、深みを増していく。

(中略)

本来、教育というのは、頭を使う習慣の乏しい児童・生徒に頭を使うように促すものであるはずである。それなのに、頭を使う習慣がないからといって、理由など考えずに表面的スキルを身につければよいといった教育などしていたら、児童・生徒はいくら教育を受けても思考停止から脱することはできないだろう。

(榎本博明『思考停止という病理』^{やまい}による)

問一 傍線部「実用性を重視して英会話中心の授業にする」とあるが、筆者はこれについて、どのように指摘しているか。本文の具体例に沿って三百字以内でまとめなさい。

問二 人々が「思考停止」に陥っている現代社会の現象を取り上げ、あなたの考えを五百字以内で述べなさい。